

### 3 世帯主の年齢階級別の状況

#### (1) 貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い

勤労者世帯について世帯主の年齢階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高も多くなっており、30歳未満の世帯が349万円となっているのに対し、60歳以上の世帯が2235万円と、その格差は6.4倍となっている。

負債現在高についてみると、40～49歳までは年齢階級が高くなるに従って多くなるが、40～49歳をピークに少なくなっている。

純貯蓄額をみると、30～39歳を除くすべての年齢階級で貯蓄超過となっており、特に60歳以上の世帯の貯蓄超過額（2029万円）が最も大きくなっている（図10、表12）。

図10 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（勤労者世帯）

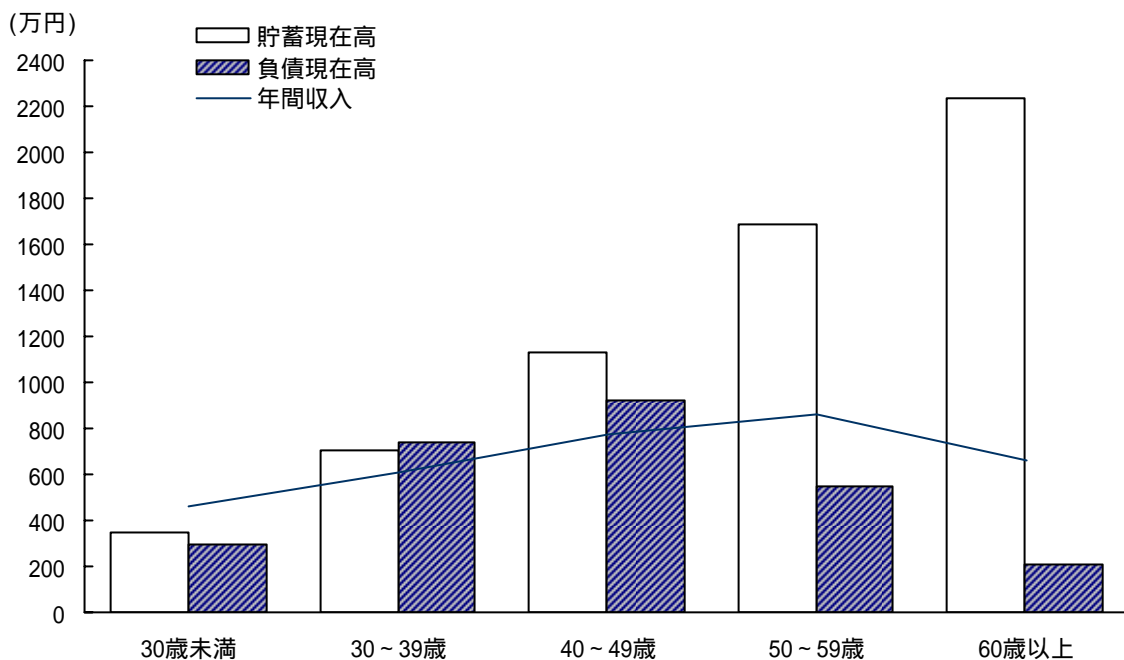


表12 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（勤労者世帯）

年次	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
年間収入（万円）						
平成14年	748	465	629	780	893	680
15	721	459	607	766	847	663
16	730	461	608	778	858	658
対前年増減率（％）						
平成15年	-3.6	-1.3	-3.5	-1.8	-5.2	-2.5
16	1.2	0.4	0.2	1.6	1.3	-0.8
貯蓄現在高（万円）						
平成14年	1280	368	719	1108	1659	2332
15	1292	316	738	1118	1672	2362
16	1273	349	701	1132	1683	2235
対前年増減率（％）						
平成15年	0.9	-14.1	2.6	0.9	0.8	1.3
16	-1.5	10.4	-5.0	1.3	0.7	-5.4
負債現在高（万円）						
平成14年	607	249	727	845	526	186
15	605	229	701	864	528	161
16	655	296	742	923	547	206
対前年増減率（％）						
平成15年	-0.3	-8.0	-3.6	2.2	0.4	-13.4
16	8.3	29.3	5.8	6.8	3.6	28.0
住宅・土地のための負債（万円）						
平成14年	562	222	690	789	472	164
15	554	193	664	806	464	130
16	605	261	698	866	495	168
対前年増減率（％）						
平成15年	-1.4	-13.1	-3.8	2.2	-1.7	-20.7
16	9.2	35.2	5.1	7.4	6.7	29.2
純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）（万円）						
平成14年	673	119	-8	263	1133	2146
15	687	87	37	254	1144	2201
16	618	53	-41	209	1136	2029

(2) 負債保有世帯のうち50歳未満の各年齢階級で負債超過

勤労者世帯のうち負債を保有している世帯について、世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高も多くなっており、30歳未満の世帯が260万円、60歳以上の世帯が1691万円となっている。

負債現在高についてみると、40～49歳の世帯が1447万円と最も多くなっている。

純貯蓄額をみると、50歳未満の各年齢階級で負債超過となっており、30～39歳の世帯の負債超過額(846万円)が最も大きくなっている。一方、50歳以上の各年齢階級で貯蓄超過となっており、60歳以上の世帯の貯蓄超過額(914万円)が最も大きくなっている(図11, 表13)。

図11 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高(負債保有勤労者世帯)

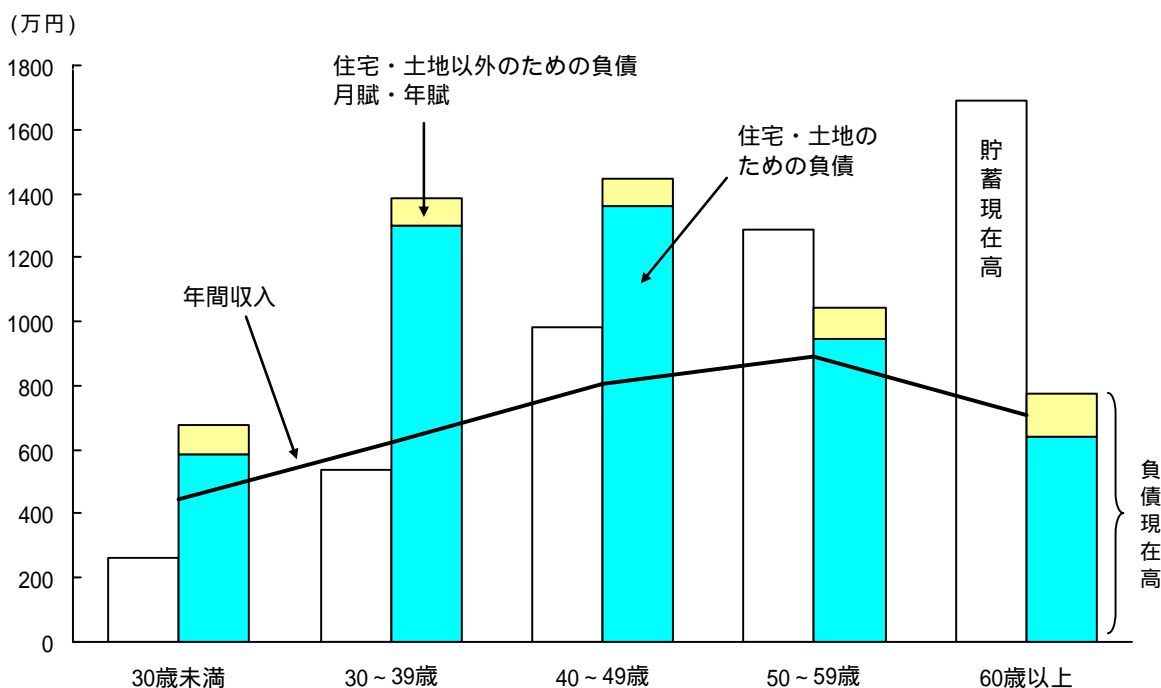


表13 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（負債保有勤労者世帯）

年次	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
年間収入（万円）						
平成14年	799	494	659	823	936	754
15	757	470	624	792	880	700
16	765	443	625	803	893	710
対前年増減率（％）						
平成15年	-5.3	-4.9	-5.3	-3.8	-6.0	-7.2
16	1.1	-5.7	0.2	1.4	1.5	1.4
貯蓄現在高（万円）						
平成14年	969	337	601	968	1230	1569
15	970	228	622	958	1242	1680
16	971	260	538	982	1286	1691
対前年増減率（％）						
平成15年	0.1	-32.3	3.5	-1.0	1.0	7.1
16	0.1	14.0	-13.5	2.5	3.5	0.7
負債現在高（万円）						
平成14年	1164	676	1334	1372	977	661
15	1171	571	1344	1357	1006	622
16	1242	679	1384	1447	1043	777
対前年増減率（％）						
平成15年	0.6	-15.5	0.7	-1.1	3.0	-5.9
16	6.1	18.9	3.0	6.6	3.7	24.9
住宅・土地のための負債（万円）						
平成14年	1077	602	1265	1281	877	584
15	1073	479	1272	1265	884	505
16	1148	597	1301	1358	943	639
対前年増減率（％）						
平成15年	-0.4	-20.4	0.6	-1.2	0.8	-13.5
16	7.0	24.6	2.3	7.4	6.7	26.5
純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）（万円）						
平成14年	-195	-339	-733	-404	253	908
15	-201	-343	-722	-399	236	1058
16	-271	-419	-846	-465	243	914

(3) 世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高は3000万円以上が約4分の1を占める

勤労者世帯のうち世帯主が60歳以上の世帯について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、勤労者世帯全体では貯蓄現在高の低い方に偏ったものとなっているが、60歳以上の勤労者世帯では貯蓄現在高が高い方へも広がった比較的ばらついた分布となっている。そのうち3000万円以上の貯蓄を保有する世帯は全体の約4分の1(26.2%)を占めており、勤労者世帯全体における3000万円以上の貯蓄を保有する世帯の割合(9.7%)の約3倍となっている(図12)。

図12 世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布 (勤労者世帯)

